

**令和4年度 木材利用優良施設等コンクール
受賞施設等の概要**

木材利用推進中央協議会

<優良施設部門>

- 内閣総理大臣賞 流山市立おおぐろの森中学校 (千葉県)
- 農林水産大臣賞 京丹波町役場 新庁舎 (京都府)
- 文部科学大臣賞 大豊町立大豊学園 (高知県)
- 国土交通大臣賞 Port Plus 大林組横浜研修所 (神奈川県)
- 環境大臣賞 HULIC & New GINZA 8 (東京都)
- 林野庁長官賞 ○ ザ ロイヤルパークキャンパス 札幌大通公園 (北海道)
- OYAKI FARM BY IROHADO (長野県)
- 清水建設北陸支店新社屋 (石川県)
- 木材利用推進中央協議会会長賞
- 昭和学院小学校 ウェスト館 (千葉県)
- 徳島県立木のおもちゃ美術館 (徳島県)
- みどり市立笠懸西小学校 (群馬県)
- 審査委員会特別賞
- みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」(福島県)
- 日刊木材新聞社新社屋 (東京都)

<国産材利用推進部門>

- 農林水産大臣賞 テクノウッドワークス株式会社 (栃木県)
- 林野庁長官賞 大東建託株式会社 (東京都)

優秀賞

- ①東北電力奥会津水力館 みお里 MIORI®
- ②京丹波町立たんばこども園
- ③八代市庁舎
- ④宮城県林業技術総合センター
- ⑤KITOKI (キトキ)
- ⑥岡崎市豊富保育園
- ⑦ひだまりのこみちクリニック
- ⑧大崎市鳴子総合支所庁舎等複合施設
- ⑨鳥コKid'sStation
- ⑩フジビル広島府中
- ⑪田沢コミュニティセンター
- ⑫江真コンサルティング新社屋
- ⑬みやの森こども園
- ⑭サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場
(レセプション棟他)
- ⑮大子町新庁舎
- ⑯やはた幼稚園 保育ルーム
- ⑰常陸太田市立水府小・中学校
- ⑱Modellazione legno
- ⑲ささしま高架下オフィス
- ⑳下石の通り所
- ㉑学校法人カトリック学園 海星幼稚園
- ㉒トータス下栗
- ㉓湖泉閣 養生館 風樹の湯
- ㉔ビラビスタ船橋宮本
- ㉕伊方町観光交流拠点施設「佐田岬はなはな」
- ㉖ドクターヘリ格納庫
- ㉗道の駅ふくしま
- ㉘アーブル自由が丘
- ㉙もくもくほいくえん
- ㉚福井県年縞博物館
- ㉛育成会ひまわり保育園
- ㉜小浜市立小浜美郷小学校
- ㉝FANFARE atelier
- ㉞東急池上線池上駅
- ㉟名古屋ビルディング桜館
- ㊱城南信用金庫 高円寺支店
- ㊲吉野さくら学園
- ㊳JRクレメントイン高知
- ㊴ザ・パークハビオ SOHO 大手町
- ㊵NEW-U CAR

内閣総理大臣賞

流山市立おおぐろの森中学校（千葉県流山市）



<施設概要>

設計者、発注者、木材供給者、木材加工者による協働調達体制を構築し、一般サイズのLVLや製材、CLT等を用いたデザイン性の高い校舎をRC造と同等のコストで実現。

流山市の治水に影響を与える利根川上流域の材や姉妹都市の長野県信濃町産材など、地域に縁のある木材を弾力的に活用するとともに、高耐力市松状耐震壁の開発・採用により、純木造で透明性の高い外観と開放的な明るい教室も実現しており、他地域の学校施設などへの普及が大いに期待される施設となっている。



施主	流山市
設計者	株式会社日本設計
施工者	株式会社奥村組
主要構造	木造(軸組工法、木質ラーメン構造)、鉄骨造、鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
延べ面積	14,568.34 m ²
主な使用樹種	スギ、ヒノキ、カラマツ、カバ、サクラ、ヒバ、マテバシイ

<優良施設部門> 農林水産大臣賞

京丹波町役場 新庁舎（京都府船井郡京丹波町）



<施設概要>

地域材を主体に安定した部材の供給を確保するため、地域内の業界団体、学識経験者、京都府や当町等の関係者による連携体制の構築等により、地域産材の確実かつ円滑な調達を実現するとともに、大径原木を有効活用する『組立柱』の開発や既存の技術・工法を採用し、地元の加工業者・工務店が参画、協働することにより建てられた木造庁舎。

これにより、建築に使用する木材の町産材率96%を実現。町の豊かな森林資源を感じられる7寸角無垢のヒノキ柱をシンボルとして建物正面に採用するなど、地域らしさを醸し出すとともに親しみやすく木材の魅力を最大限に生かした建築物となっている。



施主	京丹波町
設計者	有限会社 香山建築研究所
施工者	大成建設株式会社 関西支店
主要構造	木造(軸組工法)、鉄骨造、鉄筋コンクリート造
階数	地上2階
延べ面積	4,923.21 m ²
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

文部科学大臣賞

大豊町立大豊学園（高知県長岡郡大豊町）



<施設概要>

大豊町で製造されているラミナをつかったCLTと製材や集成材を適材適所に組み合わせて利用するため、CLTパネルと在来貫工法を組み合わせた新たな架構を開発し、建築に使用する木材は全て高知県大豊町のスギ・ヒノキとすることで、地域材の活用と美しい木造軸組みの校舎を実現。

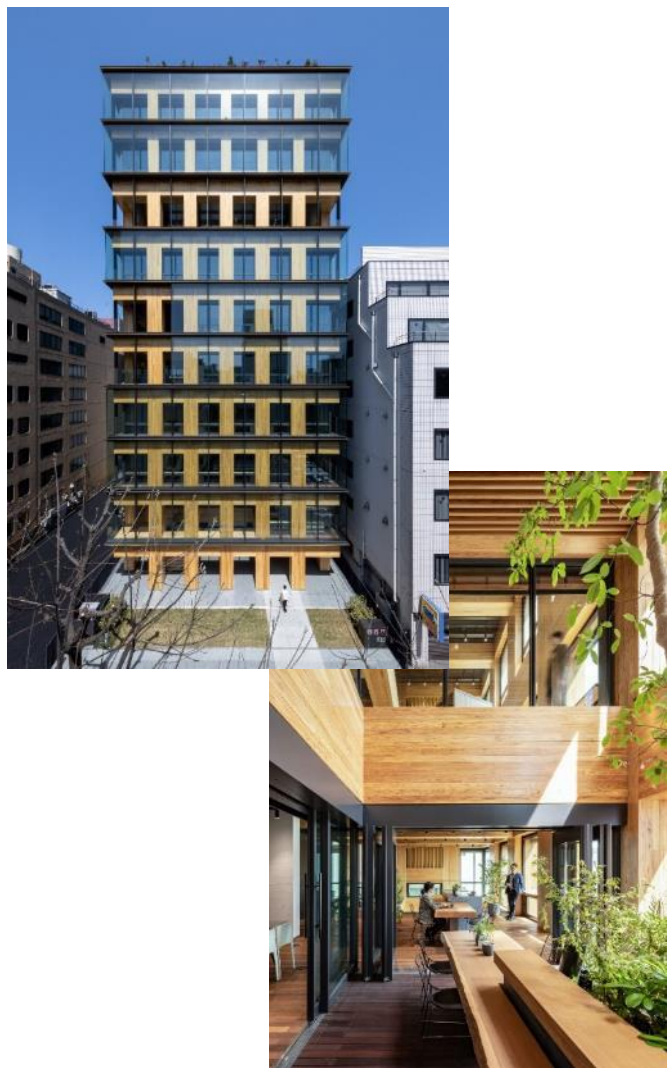
既存の森林整備と木材供給の地域連携体制を活かし、構造材から造作材、家具、CLTまで、適材適所の地元木材を円滑に調達している。



施主	大豊町
設計者	有限会社 艸建築工房
施工者	有限会社 藤川工務店
主要構造	木造(軸組工法、CLTパネル工法)
階数	地上2階
延べ面積	3251.99 m ²
主な使用樹種	スギ・ヒノキ

国土交通大臣賞

Port Plus 大林組横浜研修所（神奈川県横浜市）



<施設概要>

構造部材にLVL、CLTを使用し、自社の木造耐火技術を応用しGIR接合（接合ロッドと接着剤を併用し木材を接合）と貫構造を組合せることで、柱・梁が一体となった「剛接合仕口ユニット」を開発・採用する等により、11階建の純木造の耐火建築物を実現。

仕口ユニットの貫部材として超厚物合板（木質仕口パネル）や、遮音性能の確保が困難な木質系の床の遮音性を向上するため、CLT床上に木製の板ばねと乾式二重床を併用した「板ばね遮音システム」を開発・採用する等、現時点での純木造の高層建築物の到達点を示す代表例。

施主	(株)大林組
設計者	(株)大林組 一級建築士事務所
施工者	(株)大林組
主要構造	木造(剛接合仕口ユニット)
階数	地上11階 地下1階
延べ面積	3502.87 m ²
主な使用樹種	スギ、カラマツ、ダフリカカラマツ、ラワン、スクピラ、パイン

環境大臣賞

HULIC & New GINZA 8 (東京都中央区)



<施設概要>

主な構造部材には、福島県白河市産のスギ材を採用し、東京が拠点の不動産会社と地方の林業との連携を実現。また、東京で地産地消が可能な多摩産材を活用し、都市建築が地場林業の活性化に貢献する好事例となった。

2018年に大臣認証を取得した2時間耐火集成材梁を採用し、CLTが構造材兼、型枠兼、天井仕上となる「CLT合成床板」及び「インサートレール構法」を開発・導入。また、CLT補剛制振壁による塔状比の高い建物の横揺れ制御の採用等により、日本で初となる12層の木造架構を持つ「高層木造ハイブリッド建築」を実現。高層ビルの設計に木造という選択肢を提供し、都市建築の木造化の流れを加速させる先進事例である。



施主	ヒューリック株式会社
設計者	株式会社竹中工務店 東京本店設計部
施工者	株式会社竹中工務店
主要構造	木造、鉄骨造
階数	地上12階 地下1階
延べ面積	2,459.55 m ²
主な使用樹種	カラマツ・スギ

<優良施設部門> 林野庁長官賞

ザ ロイヤルパーク キャンバス 札幌大通公園（北海道札幌市）



<施設概要>

地上1階から8階までをRC造、9階から11階までを木造とし、北海道産のトドマツ、カラマツ、タモ材を活用した高層ハイブリット木造建築。

外装材への北海道産カラマツ木ルーバーの利用等による地域材利用や、北海道産トドマツを使用したコンクリート躯体の型枠を仕上げとして利用可能な新建材や壁倍率25程度の高耐力壁を開発・導入しており、今後の高層ハイブリットの木造建築のモデル的な事例。



施主	三菱地所株式会社
設計者	株式会社三菱地所設計
施工者	清水建設株式会社 北海道支店
主要構造	木造(枠組壁工法)、鉄筋コンクリート造
階数	地上11階 地下1階
延べ面積	6,157.06 m ²
主な使用樹種	タモ、カラマツ、トドマツ

<優良施設部門> 林野庁長官賞

OYAKI FARM BY IROHADO (長野県長野市)



<施設概要>

「大地の記憶とその土地に還る。」をテーマに県産材の木を構造・下地・外壁・内装に使用。

3 mの軒の出を方杖なしで作るため、古来の知恵と伝統的木組みを活かし、スギ材の出桁の上に母屋、垂木、野地板 J パネル30 で45分準耐火構造とした。

通常300 x 330と大きな材の合わせ柱を小さなスパンで並べると圧迫感が出るが、円弧状に配置し、基礎を段階的に立ち上げ、更に外側にルーバーを兼ねた耳付き柱のカーテンウォールをつけることにより圧迫感を緩和した大空間を実現した。



施主	有限会社いろは堂
設計者	遠野未来建築事務所
施工者	株式会社フリーザーシステム
主要構造	木造
階数	地上2階
延べ面積	1633.96 m ²
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

<優良施設部門> 林野庁長官賞

清水建設北陸支店新社屋（石川県金沢市）



<施設概要>

地域貢献と地産地消のために計画当初より石川県産・石川県木である「能登ヒバ」の活用を企画。従来制約のあった耐火木鋼梁について、「鉄骨梁成1000の耐火木鋼梁」を開発し、国土交通大臣認定を取得してロングスパン・無柱空間」を木質で実現する汎用性のある技術として確立。

仕上材としても見せることで、能登ヒバの木肌の美しさや木の香りが漂う室内空間を実現するとともに、2層吹抜や格子の成をそのまましたことで、天井も高く開放感があふれた表情豊かな空間となった。



施主	清水建設株式会社北陸支店
設計者	清水建設株式会社北陸支店一級建築士事務所
施工者	清水建設株式会社北陸支店
主要構造	鉄骨造、鉄筋コンクリート造
階数	地上 3 階 地下 1 階
延べ面積	4224.46 m ²
主な使用樹種	ヒバ

木材利用推進中央協議会会長賞

みどり市立笠懸西小学校（群馬県みどり市）



<施設概要>

使用している木材は主にみどり市内のスギで、森林組合と連携を図り、設計段階から数量の把握と伐採スケジュールなど、綿密に打合せ、圧密加工や再生木加工などの加工品を製作する上では、各メーカーとの連携し段取りを調整。

RC造であるが、児童が活動するエリアを中心に木質空間をすることで、理想的な空間構成と木を感じることでできる建築を実現。

合板下地の二重床を使い床下空調を行うことで、児童の快適性を確保し、省エネが図られている。また、木質ペレット焚吸収冷温水機空調設備を使用し、継続的なCO2削減にも配慮した計画となっている。

施主	みどり市
設計者	株式会社石井設計
施工者	関東・阿左美・桂特定建設工事共同企業体
主要構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
延べ面積	10783.19㎡（校舎・屋内運動場）
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

木材利用推進中央協議会会長賞

昭和学院小学校 ウェスト館（千葉県市川市）

<施設概要>



RC造の既存校舎に対し、木造で増築された校舎である。

「CLT二方向 フラットスラブ」を日本で初めて床構造として適用し、天井高さの最大化と既存校舎との連絡の両立を行った。CLT板同士の接合には鉄筋D22によるGIR接合を用いることで、従来の引きボルトやホールダウン金物では実現が難しい高耐力の接合を実現している。

また、イ準耐火建築物の燃えしろ設計を採用し、国産材を活用したスギCLTを構造体兼内装材として用い、木材が機能を横断するシームレスな空間形成している。



施主	学校法人 昭和学院
設計者	株式会社日建設計 Nikken Wood Lab
施工者	大成建設株式会社 千葉支店
主要構造	木造(CLTパネル工法)、鉄骨造
階数	地上 2 階
延べ面積	1467.84㎡
主な使用樹種	スギ、ヒノキ

木材利用推進中央協議会会長賞

徳島県立木のおもちゃ美術館（徳島県板野町）



<施設概要>

既存の県立施設であった建物を内装木質化により大規模改修し、「木のおもちゃ美術館」として再整備された施設である。

既存の五本の鉄柱を木のルーバーで天井部分まで覆うことで、巨樹を表現し、美術館として違和感なく、見た目にも美しいデザインとなっている。優しい曲線の木材製品やおもちゃは、地元の名所・名産を表現したデザインを採用しており、利用者が楽しみながら本県特有の自然風景に触れられるようになっている。

使用木材は、徳島県木材認証制度に則った徳島県の産地認証材を基本とし、館内で使用されている木材の99%が県産材である。

施主	徳島県
設計者	株式会社アズマ建設
施工者	株式会社アズマ建設
主要構造	鉄骨造
階数	地上1階、地下1階
延べ面積	1568.49㎡
主な使用樹種	スギ

審査委員会特別賞

みなみあいづ森と木の情報・活動ステーション「きとね」(福島県南会津町)



<施設概要>

構造材等の調達には材工分離発注とし、公共建築物等における木材供給実績のあるNPO法人が、その経験と組織力を生かして担当し、建築工事の進捗に合わせて納入。

構造に用いた縦ログ及び重ね梁は、3m～4mの一般流通材を中心に組み合わせている。4m以上のスパンとなる梁の補強にカラマツ集成材を飼い木として用いた。縦ログは、木材を10本程度連結してパネル化し国土交通大臣認定を取得しており、汎用化が期待される。

これまでの大型建築にとらわれない縦ログ、重ね梁の採用により、町有林の伐採から製材、乾燥、加工、施工のほぼ全ての工程を町内で完結させた。

施主	南会津町
設計者	福島県建築設計協同組合
施工者	株式会社芳賀沼製作
主要構造	木造(軸組工法)
階数	地上2階
延べ面積	820.59 m ²
主な使用樹種	スギ、セン等

審査委員会特別賞

日刊木材新聞社新社屋（東京都江東区）



<施設概要>

木材関連の報道事業を営んできた同社が、木材の街の『ランドマーク』を意識して建設した新社屋。

当地は準防火地域のため、木造建築物にも建築制限が課せられるが、木材を現しで使うことを可能とする木造3階建て準延焼防止技術適合基準建築物としている。

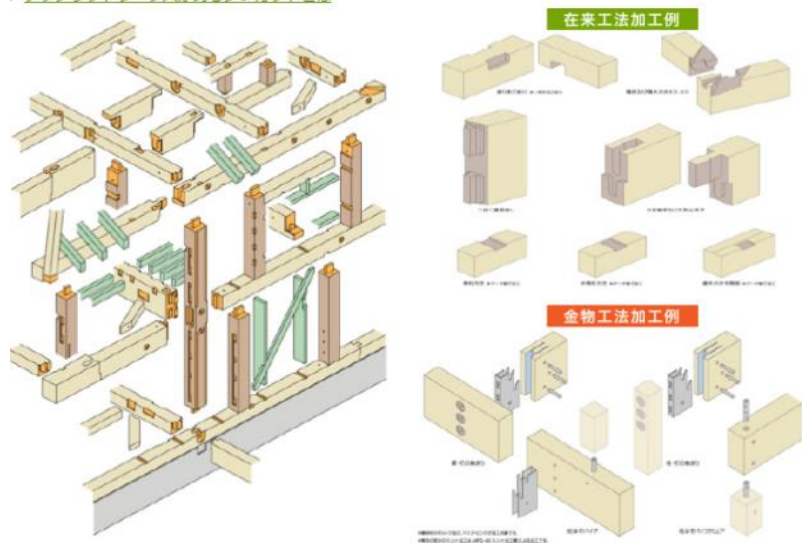
設計者、木躯体業者と集成材製造業者の連携により、10m近い柱の間にジョイントを設け、運搬や周囲に余裕がない敷地での施工性に配慮するなど、都市木造として特別な技術を駆使せずとも、街並みに木が現せる中規模建物のモデルとなる事例。

施主	株式会社日刊木材新聞社
設計者	株式会社アイケイディーエス
施工者	株式会社長谷萬
主要構造	木造(木造ラーメン構造)
階数	地上2階
延べ面積	375.82 m ²
主な使用樹種	カラマツ、ヒノキ、バイマツ、ホワイトバーチ、オウシュウアカマツ

<国産材利用推進部門> 農林水産大臣賞

テクノウッドワークス株式会社（栃木県鹿沼市）

▶ テクノウッドワークスが誇るプレカットとは



<取組み概要>

プレカット事業者として、令和3年1年間に木材入荷量の25.8%に当たる国産材を消費するとともに、令和2年以前の5年間で23万8,091m³の国産材を利用した実績を有する。また、品質・強度に優れた『とちぎ県産材』の活用推進を社の基本方針に掲げ、①リレーフォーラム・イン・鹿沼への出演、②とちぎの県産材を目で見て手で触れる工場見学の実施、③栃木県内に山林6haを取得し、社員による間伐・造林作業などの体験研修、④WOODコレクション（モクコレ）への参加などを積極的に実施している。

木工の町として発展した鹿沼市に根付く企業として、プレカット工場の立場から地場木材関連企業の発展に貢献することを目指した取組みをさらに継続・拡充していくこととしている点は高く評価できる。



工場見学

事業体名	テクノウッドワークス株式会社
業種	プレカット事業者
令和3年度利用量	50,227.37 m ³
過去5年分の利用量	238,091.18 m ³

<国産材利用推進部門> 林野庁長官賞

大東建託株式会社（東京都港区）



<取組み概要>

住宅関連事業者として、2020年に策定した環境経営戦略「DAITO 環境ビジョン2050」に基づき、①事業活動に必要なエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄うことを目標とする「RE100」への加盟、②「環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの方針」に基づく持続可能なサプライチェーンの構築の取組み、③木材調達に関して独自の「木材調達ガイドライン(生物多様性に悪影響をおよぼす恐れのある木材を調達しないこと、合法性が確認された持続性のある木材・森林資源を活用する方針)」の策定、④ウッドショックの影響は限定的なものの、その発生には複数の要因が考えられ、先行き不透明な局面が続くとの予測の下、更なる影響の長期化も想定しつつ木材価格や為替の状況を踏まえた対応策の実施等、機動的・弾力的な事業活動に取り組んでいる。

事業体名	大東建託株式会社
業種	住宅関係事業者
令和3年度利用量	17,177 m ³
過去5年分の利用量	63,825 m ³